

皮膚科学

教	授	諸	橋	正	昭
講	師	池	田	和	夫
講	師	高	橋	省	三
講	師	須	藤	成	章
助	手	小	西	可	南
助	手	檜	垣	修	一
助	手	斉	藤	明	宏
助	手	関	木	智	輔
助	手	春	井	千	江
助	手	松	浦	正	尋
助	手	籠	永	憲	順
	文部技官	松	永	憲	治

◆ 著 書

- 1) 諸橋正昭：痤瘡，酒皰。「今日の治療指針1987年度版」日野原重明，阿部正和編，641，医学書院，1987.
- 2) 諸橋正昭：色素異常症。「標準皮膚科学第2版」佐藤良夫，池田重雄編，173-185，医学書院，1987.
- 3) 諸橋正昭：粘膜とその関連疾患。「標準皮膚科学第2版」佐藤良夫，池田重雄編，370-376，医学書院，1987.
- 4) 諸橋正昭：外耳の皮膚疾患。「標準皮膚科学第2版」佐藤良夫，池田重雄編，377-378，医学書院，1987.
- 5) 諸橋正昭：漢方剤。「皮膚科治療ハンドブック」大城戸宗男編，36-39，南山堂，1987.
- 6) 諸橋正昭：皮膚の痛み。「皮膚科治療ハンドブック」大城戸宗男編，102-104，南山堂，1987.
- 7) 諸橋正昭：痤瘡。「皮膚科治療ハンドブック」大城戸宗男編，376-379，南山堂，1987.
- 8) 諸橋正昭：円形脱毛症。「皮膚科治療ハンドブック」大城戸宗男編，382-383，南山堂，1987.
- 9) 諸橋正昭：昆虫刺螫症。「皮膚科治療ハンドブック」大城戸宗男編，444-445，南山堂，1987.
- 10) 諸橋正昭：脂漏性皮膚炎—I乳児，II成人—。「カラーアトラス皮膚科診療 Questions and Answers」西山茂夫，藤沢竜一，森 俊二，井上勝平，高橋誠編，10-13，六法出版，1987.
- 11) 諸橋正昭：Vidal 苔癬。「カラーアトラス皮膚科診療 Questions and Answers」西山茂夫，藤沢竜一，森 俊二，井上勝平，高橋誠編，14-15，六法出版，1987.
- 12) 須藤成章，斉藤明宏：著名な色素沈着を伴なう皮膚リンパ腫。「皮膚のリンフォーマVI」山田

瑞穂編，120，皮膚リンフォーマ研究会，1987.

◆ 原 著

- 1) Morohashi M., Takahashi S., Konishi K. and Maeda T.: Sebaceous carcinoma; An ultrastructural study. Proceedings of the Forth Japan-Korea Joint Meeting of Dermatology, 532-536, 1987.
- 2) Takahashi S., Higaki S. and Morohashi M.: A case of linear IgA bullous dermatosis. Proceedings of the Forth Japan-Korea Joint Meeting of Dermatology, 254-258, 1987.
- 3) Sudo S., Saito A. and Morohashi M.: Immunohistochemical study of Langerhans cells in skin tumors. Dermatologica (Basel) 174 (2): 76-83, 1987.
- 4) 小西可南，諸橋正昭：痤瘡の和漢薬治療に関する基礎的研究(第2報)—Propionibacterium acnesの漢方エキス製剤感受性—。和漢医薬学会雑誌，3(3): 254-255, 1986.
- 5) 斎藤明宏，諸橋正昭：和漢薬の抗面皰作用に関する組織化学的検討。和漢医薬学会誌，3(3): 268-269, 1986.
- 6) 松井千尋，諸橋正昭：尋常性痤瘡の治療経験—ヨクイノゲンの使用経験—。基礎と臨床，21(6) 2987-2989, 1987.
- 7) 籠浦正順，須藤成章，諸橋正昭：尋常性乾癬に合併したSLE。皮膚病診療，9(7): 643-646, 1987.
- 8) パッチテスト研究班，諸橋正昭，小西可南：Musk Ambretteのパッチテスト至適濃度の検討および黒皮症における2% Benzyl salicylate陽性率。皮膚，29(増3): 113-118, 1987.
- 9) パッチテスト研究班，小西可南，諸橋正昭：ヘアダイのパッチテスト成績(第4報)および黒皮症患者の推移(1985)。皮膚，29(増3), 132-136, 1987.
- 10) MR-21皮膚悪性腫瘍研究班，諸橋正昭：インターフェロン-β(MR-21)の皮膚悪性腫瘍に対する臨床効果の検討。日本癌治療学会誌，22(5): 977-986, 1987.
- 11) 佐貫大三郎，高橋省三，諸橋正昭：Rhino hairless mouseを用いた和漢生薬のcomedolytic活性の検討。82(3): 309-313, 1987.

◆ 症例報告

- 1) 檜垣修一，高橋省三，諸橋正昭：Adult Xanthogranuloma。皮膚臨床，29(3): 313-317, 1987.
- 2) 檜垣修一，須藤成章，高橋省三，諸橋正昭：Linear IgA bullous dermatosis。臨床皮膚科，41(4): 309-313, 1987.
- 3) 松井千尋，高橋省三，諸橋正昭：エノキサニン

よる光線過敏症の3例. 臨床皮膚科, 41(8): 579-582, 1987.

- 4) 岩崎光順, 大類聡明, 松井千尋, 長谷川隆, 岩津都希雄: Fonsecaea pedrosoi によるクロモミコーシスの1例—原因菌の分生子形成様式について—. 皮膚科の臨床, 29(10): 990-991, 1987.
- 5) 関 太輔, 斉藤明宏, 諸橋正昭, 柴原直利, 寺沢捷年: Weber-Christian 病. 皮膚病診療, 9(1): 24-28, 1987.

◆ 総 説

- 1) 諸橋正昭: 皮膚疾患に対するステロイド外用療法と漢方薬. 「Contempo'87 最先端の漢方医学」JAMA 日本語版, 8(2): 14-15, 1987.
- 2) 諸橋正昭: 痤瘡の病因と治療. マルホ皮膚科セミナー—放送内容集, 64: 14-18, 1987.
- 3) 諸橋正昭: 表皮母斑症候群. 「広範囲症候群新訂版」, 日本臨床, 45(春季臨時増刊号): 1261, 1987.
- 4) 諸橋正昭, 小西可南: 小児皮膚疾患と漢方剤. 小児科, 28(4): 493-502, 1987.
- 5) 諸橋正昭, 小西可南: 凍瘡, 凍傷. 「小児の皮膚—正常と異常—」小児内科, 19(臨時増刊号): 496-498, 590, 1987.
- 6) 諸橋正昭: 痤瘡の発症病理と治療. Monthly New Drugs, 14(7): 39-49, 1987.

◆ 学会報告

- 1) Morohashi, M.: Skin diseases improved by pregnancy. Workshop on "Pregnancy and Skin". The 17th World Congress of Dermatology (CMD), 1987, 5, West Berlin.
- 2) Morohashi, M.: Local therapy of genital infection. Workshop on "Pregnancy and Skin". The 17th World Congress of Dermatology (CMD), 1987, 5, West Berlin.
- 3) Morohashi, M.: An ultrastructural study of sebaceous glands in linear nevus sebaceous syndrome. The 17th World Congress of Dermatology (CMD), 1987, 5, West Berlin.
- 4) Morohashi, M. and Takahashi, S.: An ultrastructural study of comedolytic activity of Kampo drugs on experimentally induced comedones. The 17th World Congress of Dermatology (CMD), 1987, 5, West Berlin.
- 5) Seki, T. and Morohashi, M.: Erosive pustular dermatosis of the scalp. The 17th World Congress of Dermatology (CMD), 1987, 5, West Berlin.
- 6) Kagoura, M., Takahashi, S. and Morohashi, M.:

An ultrastructural study of lipodystrophia centrifungaris abdominalis infantilis, with special reference to fibrous long spacing collagen. The 17th World Congress of Dermatology (CMD), 1987, 5, West Berlin.

- 7) 諸橋正昭: 皮膚疾患と和漢薬—現代医学からのアプローチ(特別講演). 「上海日中皮膚科漢方医学シンポジウム」, 1987, 11, 上海.
- 8) 諸橋正昭: 尋常性痤瘡の和漢薬治療に関する基礎的研究. 「第2回日中和漢薬シンポジウム」, 1987, 11, 北京.
- 9) 諸橋正昭: 痤瘡と和漢薬—基礎と臨床—(特別講演). 第1回日本皮膚科学会栃木地方会, 1987, 4, 栃木.
- 10) 諸橋正昭: 痤瘡の発症病理と治療(教育講演). 第3回日本臨床皮膚科医学会東海北陸支部学術大会, 1987, 9, 名古屋.
- 11) 諸橋正昭: アレルギー性接触皮膚炎. シンポジウム「アレルギーの基礎と臨床」. 第41回北陸医学会, 1987, 9, 富山.
- 12) 諸橋正昭: 色素脱失症におけるメラノサイトの病的変化—電顕的解析—(特別発言). シンポジウム「微細構造へのアプローチ—基礎と臨床より—」, 第16回富山医科薬科大学医学会学術集会, 1987, 1, 富山.
- 13) 諸橋正昭, 高橋省三: 尋常性痤瘡の発症病理に関する電顕的解析. 第12回日本研究皮膚科学会, 1987, 8, 札幌.
- 14) 諸橋正昭, 高橋省三, 宮入宏之: 和漢薬の抗面皰作用に関する電顕的検討. 第4回和漢医薬学会. 1987, 8, 富山.
- 15) 諸橋正昭, 小西可南: Propionibacterium acnes の電顕的検討. 高瀬教授就任25周年記念学会(第105回日本皮膚科学会信州地方会), 1987, 11, 松本.
- 16) 高橋省三, 諸橋正昭: 小児遠心性腹壁萎縮症の電顕的観察. 第19回日本臨床電子顕微鏡学会, 1987, 9, 東京.
- 17) 高橋省三: 水疱症の免疫電顕的検討. 第1回電子顕微鏡懇話会, 1987, 7, 富山.
- 18) 高橋省三: ランゲルハンス細胞の構造と機能—免疫電顕からのアプローチ—. シンポジウム「微細構造へのアプローチ—基礎と臨床より—」, 第16回富山医科薬科大学医学会学術集会, 1987, 1, 富山.
- 19) 小西可南, 檜垣修一, 諸橋正昭: 当科における標準アレルギーのパッチテスト陽性頻度. 第8

- 回富山免疫アレルギー研究会, 1987, 2, 富山.
- 20) 小西可南, 檜垣修一, 諸橋正昭: 和漢薬の *Propionibacterium acnes* に対する抗菌力についての検討. 第12回日本皮膚科学会学術大会, 1987, 8, 札幌.
- 21) 檜垣修一, 小西可南, 諸橋正昭: *Propionibacterium acnes* に対する和漢薬の抗菌力についての検討. 第4回和漢医薬学会学術大会, 1987, 8, 富山.
- 22) 檜垣修一, 斉藤明宏, 高橋省三, 諸橋正昭: Malignant trichilemmoma の1例. 第38回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1987, 10, 和歌山.
- 23) 関 太輔, 檜垣修一, 諸橋正昭: フトラフルによる薬疹. 第38回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1987, 10, 和歌山.
- 24) 関 太輔: フトラフルによる薬疹. 第322回日本皮膚科学会北陸地方会, 1987, 2, 金沢.
- 25) 関 太輔, 高橋省三, 諸橋正昭: 眼皮症を伴った顔面列序性母斑. 第86回日本皮膚科学会学術大会, 1987, 4, 横浜.
- 26) 関 太輔, 諸橋正昭, 月城孝志, 山崎徹: 紅皮症で発症した悪性リンパ腫の1例. 第3回日本皮膚悪性腫瘍学会総会, 1987, 5, 熊本.
- 27) 関 太輔, 籠浦正順, 春木智江, 高橋省三, 池田和夫, 諸橋正昭, 前田哲夫: ハムスター耳介皮膚を用いた脂腺脂質合成測定法の検討—特に和漢生薬の影響について—. 第12回日本研究皮膚科学会年次学術大会, 1987, 8, 札幌.
- 28) 関 太輔, 籠浦正順, 春木智江, 前田哲夫, 高橋省三, 池田和夫, 諸橋正昭: ハムスター耳介皮膚の脂腺の脂質合成におよぼす和漢生薬の影響について. 第4回和漢医薬学会学術大会, 1987, 8, 富山.
- 29) 関 太輔: Erythromelanosus follicularis faciei の1例. 第325回日本皮膚科学会北陸地方会, 1987, 11, 富山.
- 30) 松井千尋, 高橋省三, 諸橋正昭: Crow-Fukase 症候群. 第86回日本皮膚科学会学術大会, 1987, 4, 横浜.
- 31) 松井千尋: 骨形成を伴った脂漏性角化症. 第324回日本皮膚科学会北陸地方会. 1987, 9, 富山.
- 32) 斉藤明宏: Verruciform Xanthoma. 第324回日本皮膚科学会北陸地方会, 1987, 9, 富山.
- 33) 斉藤明宏: 毛孔性紅色秕糠疹. 第321回日本皮膚科学会北陸地方会, 1987, 11, 富山.
- 34) 山本雅之, 春木智江, 平賀紘一: ラット肝 ALA 合成酵素の cDNA クローニング. 第60回日本生化学会大会, 1987, 10, 金沢.
- 35) 籠浦正順, 春木智江, 小西可南, 高橋省三: 有棘細胞癌の2例. 第322回日本皮膚科学会北陸地方会, 1987, 2, 金沢.
- 36) 籠浦正順, 高橋省三: 新生児皮下脂肪壊死症の1例. 第323回日本皮膚科学会北陸地方会, 1987, 6, 金沢.
- 37) 籠浦正順, 高橋省三: Mixed tumor of the skin の1例. 第325回日本皮膚科学会北陸地方会, 1987, 12, 富山.
- 38) 佐貫大三郎, 高橋省三, 諸橋正昭: 和漢生薬の抗面皰作用に関する実験的検討. 第4回和漢医薬学会学術大会, 1987, 8, 富山.
- 39) 松井千尋: エノキサシンによる光線過敏症. 第320回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 6, 金沢. (61年度追加)
- 40) 松井千尋: 多発性血管脂肪腫. 第321回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 12, 金沢. (61年度追加)

◆ その他

- 1) 諸橋正昭: Forum 「中毒性表皮壊死剝離症には副腎皮質ホルモン剤を投与しない傾向に」 *Mebio*, 4(9): 9, 1987.
- 2) 諸橋正昭: 皮膚疾患「最新漢方治療」, 毎日ライフ, 18(10): 30-32, 1987.
- 3) 諸橋正昭: 瘰癧の病理と治療. 日本短波放送医学講座, 1987, 2.
- 4) 諸橋正昭: 瘰癧の発症病理. 花王研究所, 1987, 4, 宇都宮.
- 5) 諸橋正昭: 老人と皮膚疾患. 第4回富山医科薬科大学公開講座, 1987, 6, 富山.
- 6) 諸橋正昭: 瘰癧と和漢薬. オリリー研究所, 1987, 9, 大阪.
- 7) 松井千尋: 皮膚浅在性真菌症の診断と治療. 小矢部医師会生涯教育講演会, 1986, 6, 小矢部.
- 8) 大類聡明, 岩崎光順, 松井千尋, 吉沢 照: 胃症状を伴った第2期顕性梅毒. 旭中央病院医報, 8(1): 84-85, 1986. (61年度追加)
- 9) 岩崎光順, 大類聡明, 松井千尋, 長谷川隆, 岩津都希雄: クロモミコースの1例. 旭中央病院医報, 8(1): 87-88, 1986. (61年度追加)